



# 実践ライブラリー：高等部職業科「新鮮野菜はいかがですか！」



土は苦手な畑仕事は嫌だけど、収穫したものをみんなに食べてほしい。家族に持って帰って自慢したい。



作物の成長の楽しさや、販売活動での達成感を感じてほしい。

## ①種から作るよ。これはいったい何の種？

セルトレイに花や野菜の種を一粒ずつ入れます。

授業の最初には、手順書や大まかな流れを提示します。

畑にも大根や蕪の種を植えます。穴開け係、肥料係、オルTRAN(薬)係等、役割分担をして、責任を持って進めます。

### おすすめポイント

小さいタネなので1人ではなく、誰かと協力する必要があります。そのため、自然とチームが出来上がっていきます。

## ②大きく育てるために何をやるの？

毎日の水やりは生徒たちが輪番制で行います。

ある程度大きくなったら、セルトレイから苗を出して、ポットに移します。やり方は、写真や図を用いて説明します。

2・3年生はこれまでもしているので、後輩に教えながら行います。

何の花か、何色か、野菜の種類は何かを区別するようラベルを使って。販売会で説明ができるようにしました。



## ③ 収穫、そして販売！

自分たちが作ったものを収穫することは意欲的です。それを身近な人に売りたい気持ちは高く、みんなで校内を回ります。また、地域向けの販売会では、人とやりとりをすることを学びます。

「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」等どのようにやり取りをするのかも練習します。

野菜を食べてもらい「おいしい」「ありがとう」の言葉が、生徒たちのやりがいになります。

### 子どもの反応

人が集まって売れるほど声が自然に大きくなります。

